秋のころりん劇場　朗読劇

満蒙開拓を語り継ぐ

～戦争が生んだひずみに生きて～

山形村に暮らす女性の体験手記を取り入れた地域参加の朗読公演が始まります。
戦争を知らない私たちはその歴史をどのように未来へ伝えていけばよいのか。

11月22日(日)
開場／13:30・開演／14:00
会場：ミラフードン館 ホール・ミラ
住所：長野県東筑摩郡山形村2061番地1

11月23日(月・祝)
開場／13:00・開演／13:30
会場：満蒙開拓平和記念館セミナールーム
住所：長野県下伊那郡阿智村711-10
[問い合わせ]0265-43-5580
（満蒙開拓平和記念館）

【ドキュメンタリー上映会】

10月24日(土)
上演時間／13:00～15:00
作品名／『あなたのいない村
～満蒙開拓を語り継ぐ～』
会場：ミラフードン館 2階シアタールーム
料金：500円 定員20名
予約：090-5548-7169（マスシオまで）

秋のころりん劇場（山形村公演）の予約はこちら▼

チケットフォーム

一般 2,000円
子供 500円
（高校生以下）

※小学4年生以下のお子様には
必ず親御さんの付き添いをお願いします。

【問い合わせ】090-5548-7169（マスシオ）

朗読ワークショップ参加者募集!

講師の3人と朗読の舞台を一緒に
創って参加してみませんか？
舞台作りや表現することにご興味のある方、
ぜひご参加お待ちしています！

定員	8名	会場	基本的に山形村の予定です。
参加費	3,000円（中学生以下1,500円）		
対象者	小学5年生以上（全日程参加必須）		

1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	本番／1日目	本番／2日目
10月24日(土) 13:00～17:00	10月31日(土) 13:00～17:00	11月7日(土) 13:00～17:00	11月14日(土) 13:00～17:00	11月21日(土) 13:00～17:00	11月22日(土) 山形村ころりん劇場公演 会場：ミラ・フード館	11月23日(月・祝) 阿智村公演

【主催】満蒙開拓を語り継ぐ 手記朗読プロジェクト【共催】まるますころりん会企画部／満蒙開拓平和記念館
【後援】山形村 / 山形村教育委員会 / 松本市教育委員会 / 塩尻市教育委員会
【支援】信州アーツカウンシル（一般財団法人長野県文化振興事業団）

記憶を語り継ぐとはどういうことなのか。
本作は昭和初期、満蒙開拓団として旧満州（中国東北部）に渡った人たちの
体験の手記を基にした朗読劇です。
朗読作品の一場面に山形村在住の山口元女さん（99歳）が綴った手記
「満州勤労奉仕の思い出」を取り入れ、地域の方とともに朗読劇として舞台で届けます。

【満蒙開拓を語り継ぐ手記朗読プロジェクト　代表菅谷瑞恵さんからメッセージ】

長野県のみなさん、こんにちは。
私は愛知県名古屋市を拠点に、満蒙開拓を体験された方々の手記を朗読し、記憶や思いを後世に伝える活動をしています。
満蒙開拓とは、戦争中、多くの日本人が農業移民として中国東北部の満洲へ送り出され、現地の人々の土地に入植した国策です。長野県からは、全国で最も多い約3万7千人が満洲へ渡りました。
敗戦後、日本人は、住む場所や食べ物を失い、襲撃から逃げ惑い、多くの方が命を落としました。命がけで日本に帰国した方々も、新たな生活の苦労に直面しました。

私は、2年前に縁あって、長野県の山形村で交流が始まりました。そして、このたび信州アーツカウンシルの助成を受け、地域のみなさんと一緒に手記を読み、朗読劇を上演することになりました。
朗読劇の中では、山形村で暮らす99歳の山口元女さんの手記も取り上げます。山口さんの当時の苦労や思いに触れながら朗読の練習を重ねて、私たちの朗読劇「満蒙開拓を語り継ぐ～戦争が生んだひずみに生きて～」の一場面で発表させていただきます。
戦争を体験された方々の苦しみや悲しみ、懸命に生きてこられた思いを、朗読を通して次世代に繋いでいきます。

《出演・ワークッショップ講師》

菅谷瑞恵

俳優。演劇人冒険舎附属俳優養成所、総合劇集団俳優館、演劇工房NEO企画を経て、現在はフリーランス。現代劇、アングラ、フィジカルシアター、ミュージカル、朗読などジャンルや国境を超えて様々な作品に出演。
芸能事務所での演技講師歴10年。満蒙開拓を語り継ぐ手記朗読プロジェクト主宰。

山本つづみ

大阪女子大学学芸学部社会福祉学科卒業。1987～1998年、劇団プロメテ在籍。
退団後は、俳優・演出・制作・演技講師として活動。地域住民を対象とした公演やワークショップに定評がある。近年はミュージカルやオペラ出演、朗読指導、司会など仕事の幅を広げている。1997年～自主企画団体「鼓座」設立。2003年～全国児童・青少年演劇協議会事務局長。2018年～表現のプロデュース OurPlay 主宰。

越賀はなこ

愛知県出身。1999～2011年劇団うりんこ所属。退団後は、ひと組、人形劇団むすび座、劇団コーロ、劇団そらのゆめ等の小中学校や幼稚園保育園巡回公演作品に出演。
児童青少年演劇の活動を柱にしつつ、様々な劇団の裏方やツアースタッフなど、演劇に関わる仕事は「断らない」を旨として活動している。2024年よりニットキャップシアター所属。

《音楽・音響》

ノノヤママナコ

愛知県を拠点に活動する作曲家、上演作品へ楽曲を提供。山形村公演では音響での参加も予定している。（2006年名古屋市文化振興事業団　第22回芸術創造賞受賞　2020年名古屋市芸術奨励賞受賞　2024年愛知県芸術文化選奨文化賞受賞）

ころりん劇場とは？

ころりん劇場

私たちの暮らす場所へ私たちのための表現の場所をつくろうと、主に鉢盛山麓にて倉庫や農地、
お寺など身近な場所を観劇や観賞の場とする試み。コンサートや演劇、人形劇などの公演を行っています。

まるますころりん会

まるます喫茶で行われる多世代交流会。
工作教室、手芸講座、各種 WS やお話会などを行っています。

まるます喫茶

信州まつもと空港から西へ10分。松本平の西側、鉢盛山麓の山形村にあるコミュニティハウス。
絵本や児童書、演劇書を中心とした私設図書室、カフェスペースがあります。（週二日火・木）